

プラネタリウム

春 番 組

『春のどうぶつ星座探検』

投影期間 3/3~5/20

〈内 容〉

春のやわらかい光を感じられる星座観察は、北の空高くに昇った北斗七星から始めましょう。北斗七星は、北極星のほかにも、春の星を探す目印になります。

北斗七星のひしゃくの部分から緩やかな曲線を延ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールスやおとめ座のスピカ、そしてからす座を見つけることができます。（春の大曲線）

また、春の注目はかに座のプレセペ星団です。ししの大鎌とふたご座の間に、光害の少ない空なら、肉眼でも美しいプレセペ星団がみられます。

それでは、プラネタリウムで春の星座観察をしてみましょう。星座のお話もあります。

〈投影日時〉

曜日	投影開始時間		
土・日	午前11時00分	午後1時30分	午後4時00分

天体ニュース



こと座流星群は最良条件

今年のこと座流星群は、4/16~4/25の間で見られる予定です。

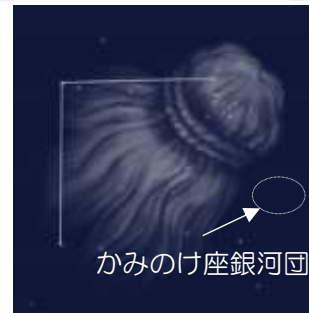
こと座流星群は、一週間ほど見られる流星群でもあるので余裕をもってみられます。

4月23日の15時ごろ極大予想を迎えると予想されていて、月明かりの心配もまったくなく最良の条件で観測できそうです！



今月の星座紹介

【かみのけ座】



「かみのけ座」は、明るい星を結んで作る星座とは違い、星があつまった星団を髪の毛の束に見立てた、めずらしい星座です。

ギリシャ神話では、古代エジプトのベレニケ王妃の髪の毛とされています。王妃が、夫が戦場から無事戻ったら、美しい自分の髪を愛と美の女神アフロディーケに捧げると誓いました。

夫は、無事に戻り女神の神殿に供えた髪が空に上げられ星座になったと言われています。

